

## Sedef Shipyard

住所	Evliya Celebi Mah. Tersaneler Cad. No:10 34940 Tuzla Istanbul / Turkey
連絡先	Phone: +90 (216) 581 7700 Fax: +90 (216) 581 7701
URL	<a href="https://www.sedefshipyard.com/en/iletisim.aspx">https://www.sedefshipyard.com/en/iletisim.aspx</a>

1972 年に Tuzla に隣接する Gebze で操業を開始。

1990 年に Tuzla に新造船所を開設して移転した。

2000 年、トルコの大手海運会社の Turkon Holding を傘下に持つ Kasif Kalavan グループが Sedef Shipyard を買収し、現在は Turkon Holding の子会社となっている。

Turkon Holding は 1954 年に船舶管理会社として設立され、1997 年にはトルコ初の民間コンテナ海運会社 Turkon Lines を設立した。

グループ企業にはトラック輸送、鉄道輸送会社も持ち、物流全般に携わっている。

Sedef Shipyard の敷地面積は、Tuzla ヤードと Orhanli ヤードがあり、それぞれ設備概要は表 1 のとおり。Tuzla には全長 310 メートルのトルコ最大級のドライドックがあり、18 万 DWT までの船の新造、修繕が可能である。年間建造能力は 60 万 DWT で、RoRo 船、タンカー、コンテナ船、漁船、浮きドック、オフショア支援船から、艦艇など多種類の船を建造する。

表 1 Sedef Shipyard の主な設備

	Tuzla ヤード	Orhanli ヤード
面積	194,000 m <sup>2</sup>	76,000 m <sup>2</sup>
屋内建造設備	51,000 m <sup>2</sup>	12,000 m <sup>2</sup>
乾ドック	310 x 50 x 8.3m 180,000DWT まで対応	NA
半浮き船台(Semi Wet Slipway)	250 x 41.2m 120,000DWT まで対応	NA
その他の設備	鉄鋼切断作業所、塗装場等	建造前の作業、塗装、機械や配管工事、鉄鋼切断作業

これまでの建造実績はおよそ 200 隻で、年間の建造量は 6 隻前後。修繕は行わないが、大規模な改造プロジェクトや橋梁向けの鉄骨等インフラプロジェクトにも従事する。Tuzla ヤードと Orhanli ヤードの立地は図 1 のとおりである。

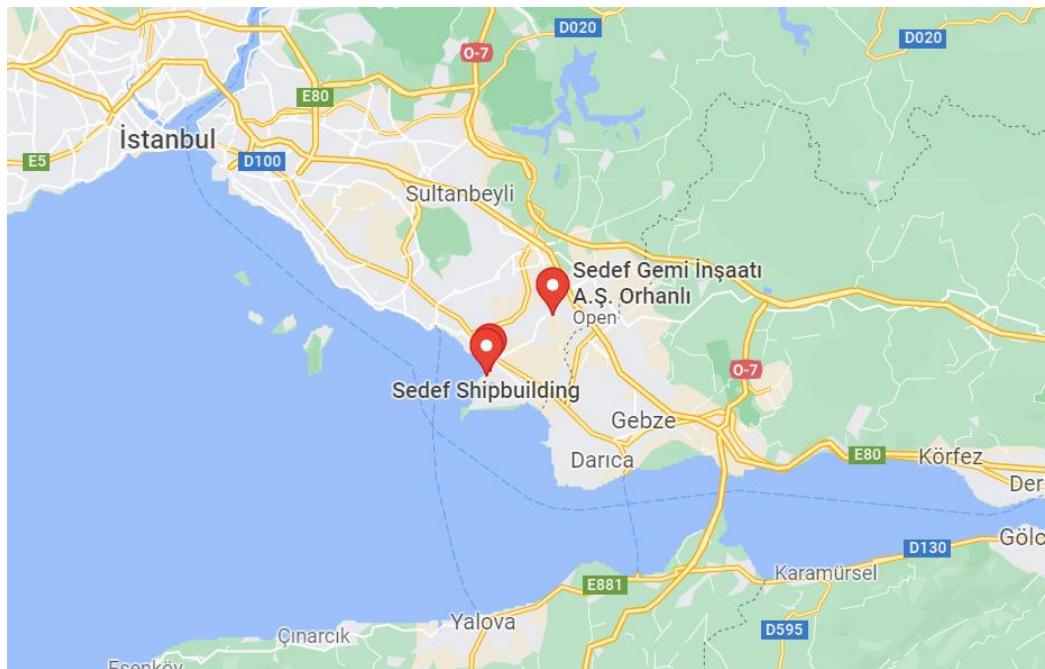


図 1 Tuzla ヤードと Orhanli 作業ヤードの立地

出典：Google Map より作成

2013 年、トルコ海軍最大で、トルコ初の多目的強襲揚陸艦 (Multipurpose Amphibious Assault Ship) TCG Anadolu を落札した。

2016 年に建造を開始し、2019 年に進水し、2022 年に海軍に引き渡される予定となっている。

TCG Anadolu の建造にあたり、Sedef Shipyard はスペインの国営造船会社 Navantia と提携した。Navantia は設計、エンジンやタービン等の機器の調達、技術協力を行う。

TCG Anadolu の概要は表 2 のとおりで、Sedef Shipyard は上陸艇 4 隻もトルコ海軍から受注し、Navantia との提携で建造を行っている。LCD は全長 25.9 メートル、エンジンは MAN 社のディーゼルエンジンである。

表 2 TCG Anadolu の概要

全長(m)	エンジン	発電機	推進システム	スラスター	船級
230.8	5 x 7600 kW MAN 16V 32/40 Diesel	Siemens Alternator GenSet	2 x 11 MW Siemens eSiPOD Propulsion	2 x 1500 kW Brunvoll Bow Thruster	Turk Loydu

出典：Sedef Shipyard ウェブサイト



建造中の TCG Anadolu

出典：Sedef Shipyard ウェブサイト

民間プロジェクトでは、2019年にノルウェーの Boreal Sjo AS から 3 隻の電動フェリーの建造を受注し、2020年3月にはさらに1隻の追加受注を受けた。

同フェリーは全長 108 メートル、設計はノルウェーの Multi Maritime である。

2021年に2隻を引き渡した。Boreal Sjo AS 向け電動フェリーの概要は図 52 のとおり。

	全長 (m)	108.8
トン数	2,850	
発電機	3 x 640 kW	
スラスター	2 x 1,200 kW	
推進システム	2 x Redundant Azimuth Thruster	
船級	DNV	
設計	Multi Maritime	

Boreal Sjo AS に納入した 108m の電動フェリー

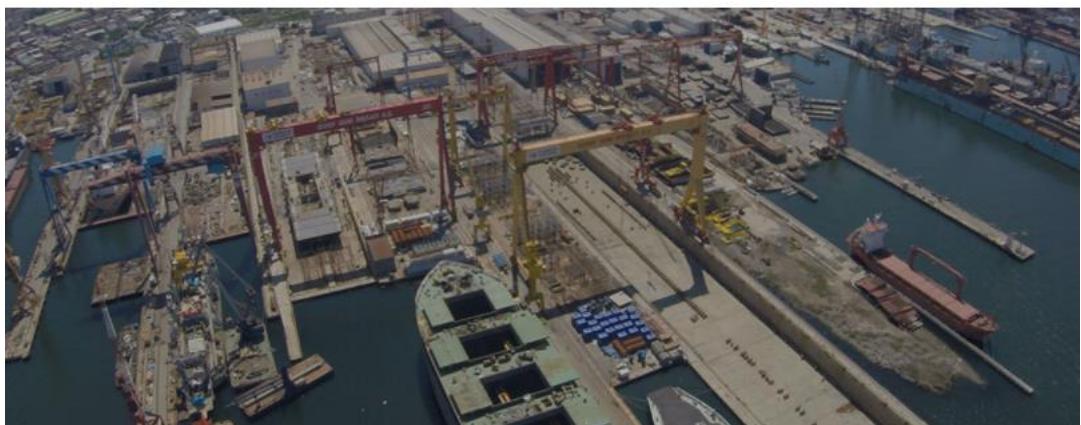
出典 : Sedef Shipyard ウェブサイト

改造では、貨物船の浮体式発電プラットフォームの改造プロジェクトで複数の実績がある。

Sedef Shipyard では 2021 年 12 月現在、浮桟橋（ポンツーン）と全長 138 メートルの発電プラットフォームに改造中で、2022 年に完成予定。

発電プラットフォーム以外では、2019 年にスウェーデンのフェリー運航大手 Stena RoRo 社からフェリーの全長を 36 メートル増やして 222 メートルにする改造を受注した。

2 隻の受注のうち 1 隻は 2021 年 6 月に引き渡した。



Sedef Shipyard, Tuzla ヤード全景

出典：Sedef Shipyard ウェブサイト



Sedef Shipyard、Orhanli 作業ヤード

出典：Sedef Shipyard ウェブサイト